

公益社団法人山口被害者支援センター
令和5年度 事業報告
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

第1 公益目的事業活動

1 被害者等支援事業

(1) 相談状況

- ・電話相談128件（前年比+65）
- ・メール相談2件（前年比+1）
- ・面接相談9件（前年比-2）

合計139件（前年比+64）

(2) 直接支援

支援数31回（前年比-6）

公判付添い6回（傷害致死4、暴行・傷害2）、検察庁付添い2回（不同意わいせつ2）
弁護士付添い4回（不同意性交2、不同意わいせつ1、暴行・傷害1）、行政窓口付添い5回（傷害致死2、不同意性交2、暴行・傷害1）、公判代理傍聴14回（傷害致死4、不同意性交5、不同意わいせつ1、重傷交通事故1、暴行・傷害3）

(3) 自助グループ(風の森)の活動支援

5月14日（日）、公開講座開催日に開催場所であるKDDI 維新ホールにおいて、第1回自助グループの会合を開催、3家族3名が参加した。11月16日（木）、週間行事開催日に開催場所である「光市民ホール」において、第2回自助グループの会合を開催、3家族3名が参加した。

2 犯罪被害者相談員、直接支援員に対する研修事業

(外部会議・研修参加状況)

月日	研修内容	場所	研修参加者
9/9 ～10	令和5年度中国・四国ブロック質の向上研修上半期研修会	松江市	2名
10/14 ～15	秋期全国研修会	東京都	7名
3/9 ～10	令和5年度中国・四国ブロック質の向上研修下半期研修会	高松市	2名

ステップアップ研修は、1月から3月にかけて山口県社会福祉士会副会長、山口市教育委員会学校教育課指導主事、SAFER アソシエイト、NNVS 認定コーディネーター、あいおいニッセイ同和損害保険事故担当者を招聘した研修を行うほか、山口刑務所の施設参観も含め計6回実施した。研修にはセンター支援員のほか、県及び市町の支援担当者や岩国刑務所刑務官等も参加した。

3 公開講座と養成講座の開催

5月14日（日）、KDDI 維新ホールにおいて、傷害致死事件ご遺族、岩城順子氏の講演による公開講座（入門講座1回目）を行い、被害者等の心情の理解や被害者等支援の重要性を広く訴えらる

ともに養成講座受講者の募集を行い、以降、8月にかけて弁護士、大学准教授、臨床心理士、検察官、警察官、裁判所職員等の専門講師等による講座（入門講座2回、初級講座7回）を実施した。養成講座受講者は9名、支援員希望者は5名で、令和5年度末で3名がインターンを修了し、直接支援員として登録した。

4 広報・啓発活動の実施

(1) 「命の大切さを学ぶ教室」の実施

県内の中学校・高等学校を対象に4回実施（参加者合計2,282名）

場 所：県内の中・高等学校

対象者：生徒、教職員、保護者等

内 容：犯罪被害者ご家族や、いじめ問題等の専門講師の講演をとおして、犯罪被害者等の心情を理解するとともに命の大切さや被害者への配慮と協力への意識を涵養し、事故防止や犯罪に対する規範意識の向上を図る。

県警委託事業「命の大切さを学ぶ教室」

月 日	学 校 名	講師名	講演種別	人数
1 4/13	下関市立川中中学校	木村緑氏	交通事故	750
2 5/30	国立宇部工業高等専門学校	小森美登里氏	いじめ防止 (DVDによる講演)	1100
3 7/11	県立小野田工業高等学校	松本里奈氏	交通事件	308
4 11/24	県立田部高等学校	松田洋子氏	デートDV防止	124
合 計				2282

～「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクール～

「命の大切さを学ぶ教室」を受講し、若しくは多様な機会に大切な命を守ることについて考えるなどした全国の中学又は高校生が応募資格

* 警察庁長官賞

中学生の部 下関市立川中中学校 近藤愛花 さん

* 山口被害者支援センター最優秀賞

高校生の部 山口県立柳井高等学校 太田亜美 さん

(2) 「命の講座」の実施

職場、団体、グループ、大学等を対象とした講座を17回実施（参加者合計782名）

県警委託事業「命の講座」～12回（○の追番）

月 日	団 体 名	講師名	講演種別	人数
① 4/26	岩国人権擁護協議会	中谷加代子氏	殺人事件	36
② 5/9	美和町更生保護女性会	中谷加代子氏	殺人事件	20
③ 6/5	美祢社会復帰促進センター	松本里奈氏	交通事件	8
④ 6/20	周南市教育委員会	松本里奈氏	交通事件	30
⑤ 6/20	国立宇部工業高等専門学校教職員	松田洋子氏	いじめ防止	160
⑥ 7/4	防府市社会福祉課	田中専務理事	被害者支援	30

⑦	7/24	美祢社会復帰促進センター	松本里奈氏	交通事件	8
⑧	8/3	山口市人権推進課	中谷加代子氏	殺人事件	40
⑨	9/5	岩国刑務所	松本里奈氏	交通事件	20
10	9/27	防府市人権学習室	中谷加代子氏	殺人事件	100
⑪	12/5	山口保護観察所Ⅰ	中谷加代子氏	殺人事件	60
⑫	12/5	山口保護観察所Ⅱ	木村緑氏	交通事故	60
13	1/16	山口少年鑑別所	中谷加代子氏	殺人事件	10
14	2/8	山口市役所生活安全課Ⅰ	田中専務理事	被害者支援	60
15	2/8	山口市役所生活安全課Ⅱ	田中専務理事	被害者支援	60
16	2/9	防府市役所社会福祉課	田中専務理事	被害者支援	50
⑬	2/15	山口市人権推進課	中谷加代子氏	殺人事件	30
合 計					782

(3) 「いのちの授業」

防府市委託事業、小・中学校を対象にした授業を2回実施（参加者合計165名）

1	10/20	防府市立向島小学校	松田洋子氏	いじめ防止	35
2	11/1	防府市立華西中学校	中谷加代子氏	殺人事件	130
合 計					165

(4) 「犯罪被害者週間行事」の開催

開催日：令和5年11月16日（木）

場 所：光市「光市民ホール」

対象者：一般市民等252名 オンライン参加20名

講演会：講師 交通犯罪事件ご遺族 高田香氏 「けんちゃんの朝顔と犯罪被害者支援」

演 奏：県警音楽隊演奏

光市長表敬訪問等による市担当課による動員協力や県、県警察の協力等により、多数の方が会場参加され、特に地元中学校（135名）の参加など命の大切さや支援の重要性、必要性を幅広い年齢層に訴えた。

(5) 「犯罪被害者等支援ミニパネル展」の開催

令和3年4月に山口県犯罪被害者等支援条例が施行されたことに伴う県の委託事業として、9月から12月にかけて、和木町文化会館、大島町役場、上関町総合文化センター、光市総合福祉センター、平生町役場、防府市役所の2市4町において、犯罪被害者等支援ミニパネル展を開催し、新聞報道やNHK、YABによる放映など、センターの周知や県条例、支援の重要性、必要性等を広く県民に広報した。

（来場者約180名）

(6) 「相談窓口担当者研修会」

県の委託事業、市町の犯罪被害者相談窓口担当者等を対象とした相談窓口担当者研修会を8月22日（火）山口県庁において開催。（参加人数25名）

目的：市町の犯罪被害者等に対する総合的対応窓口対応の向上

講義：「犯罪被害者等の現状と支援制度の概要」 警察県民課

講演：「加害者も被害者も生まないために」 犯罪被害者ご家族 松本里奈 氏

講義：「あなたの市や町の犯罪被害者をどう支援するか」

大分県立看護科学大学 准教授 関根剛 氏

(7) 犯罪被害者等支援条例の制定・改定に向けた取組

県内の市町におけるミニパネルの開催や各種会議、週間行事の市長表敬等、機会あるごとに条例制定の必要性や改定を訴えた。令和5年度中に光市、山口市、山陽小野田市、長門市、阿武町、和木町において特化条例が制定され、これまでに下関市、萩市を除く11市6町で特化条例が制定された。光市、山口市、山陽小野田市においては、条例制定案の段階において、センターへ意見要望が求められ、田中専務理事が意見要望を提出している。防府市は継続支援金等を新たに規定した改定条例を令和5年4月1日から施行。

(8) 各種広報の実施

公開講座や養成講座開催のプレスリリースやリーフレット等を配布した事前広報等により、センターの認知度の向上を図るとともに寄付型自販機設置事業者に対する感謝状贈呈時のパブリシティを活用した広報等を積極的に行った。10月7日（土）、山口きらら博記念公園において開催された「ゆめ花マルシェ2023」の会場及び12月9日（土）、阿知須きららドームで開催された県警察視閲式の会場において、パネル展示やリーフレット、チラシ等を来場者に配布し、広く県民にセンターの周知や支援の重要性、必要性を訴えた。

また、週間行事開催の事前広報を10月30日（月）、イオン光店において行った。その他、山口市「七夕会」の山口市及び首都圏の会員約400名に対し、センターの機関紙及び賛助会員募集チラシをDM発送（法人会員として入会のため七夕会から発送・事務局は山口市役所）し、センターの周知と賛助会員の募集を行った。

(9) ホームページ等広報媒体の充実

ハートライン通信等の紙面による広報を行うとともに、ホームページを随時更新し、活動状況の紹介や犯罪被害者等への支援に関する情報の周知、徹底を図った。

5 安定的活動資金の獲得

(1) 賛助会員の獲得

県民及び企業、各種機関・団体等を対象とした広報・啓発活動による獲得活動を行った。

正会員数45名（前年比+1）

賛助会員（団体）総数148団体（前年比-12）

賛助会員（個人）総数102名（前年比+2）

(2) 委託事業の獲得

県警察からの委託事業（電話・面接等相談、直接支援、広報・啓発業務、人件費等）については、令和2年度から一般競争入札となり、入札の結果、7,623,000円（消費税込み）で契約。

県の委託事業である犯罪被害者等支援ミニパネル展については、随意契約1,102,574円（消費税込み）により単年度契約。相談窓口担当者研修会については、随意契約121,000円（消費税込み）により単年度契約。

(3) 預保納付金支援事業費

日本財団から助成された令和5年度の預保納付金支援事業費は、

被害相談員を育成する人件費1名分 3,000,000円

養成研修・スキルアップ研修運営費 880,000円

が認定、令和5年度に支給された。

令和5年度に申請した令和6年度の預保納付金支援事業費は、

犯罪相談員を育成する人件費1名分 2,100,000円

養成研修・スキルアップ研修運営費 900,000円

が認定され、令和6年度に支給される。

(4) 寄付型被害者支援自動販売機の設置

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社との連携や県警察による事業所等の紹介（安全運転者管理者講習参加事業所《年間約6,000事業所》へセンターが作成したチラシ《支援自販機設置依頼チラシ6,000枚》の配布）及びファンドレイジング活動による県内各事業所等への設置依頼により新規設置事業所を獲得するほか、設置事業所への感謝状贈呈時のパブリシティを活用した広報により、県内事業所への設置拡大を図った。

寄付型自動販売機設置台数225台（前年比+26）

(5) 赤い羽根「県域」テーマ募金の募集

山口県共同募金会の「県域」テーマ募金を昨年度に引き続き申請し、令和5年度のバス車内ポスター掲示費、機関紙発行費、ボランティア運用費として

目標金額60万円

で認定を受け、令和5年1月から3月までの間、募集活動を行った結果

募金額457,148円（達成率76%・令和5年度活用）

の募金を得た。

(6) ホンデリング事業

ホンデリング事業については、ホームページや機関紙等を活用した広報のほか、当センターの募集活動が3月15日付の中国新聞朝刊に掲載された。また、しゅうなんFM「GoodMorning周南」への電話出演による広報を行うなどホンデリング事業の支援の輪を広げた。

11月末実績 1,036冊 23,832円

(7) おいでませ募金（ワンクリック募金）の実施

当センターのホームページへのバナー掲載によるリンク回数単位での企業募金の募集。

支援企業 7団体 募金総額246,000円

6 処遇の改善と人的基盤の強化

理事会の承認を得て就業規程を改正し、「ハラスメント防止」等を新たに規定するとともに、給与規程においても定期昇給と期末手当の支給基準を見直し、令和6年度支給の予算措置を行うなど職員の処遇の改善と勤務意欲の向上を図った。

また、適正人材を確保し人的基盤を強化するため、給与規程に社会福祉士の資格を新たに専門職手当として規定した。

第2 令和5年度収益事業

県警察本部犯罪被害者支援室の協力のもと、自動販売機業者との連携を密にし、収益事業の促進強化を図った。

収益型自動販売機設置台数40台（前年比－1）

県警察30台、一般10台